

| |
|--------|
| 専門教養 |
| 令和7年7月 |
| 60分 |

| |
|-----------|
| 受験教科等 |
| 特別支援学校 理療 |

注 意

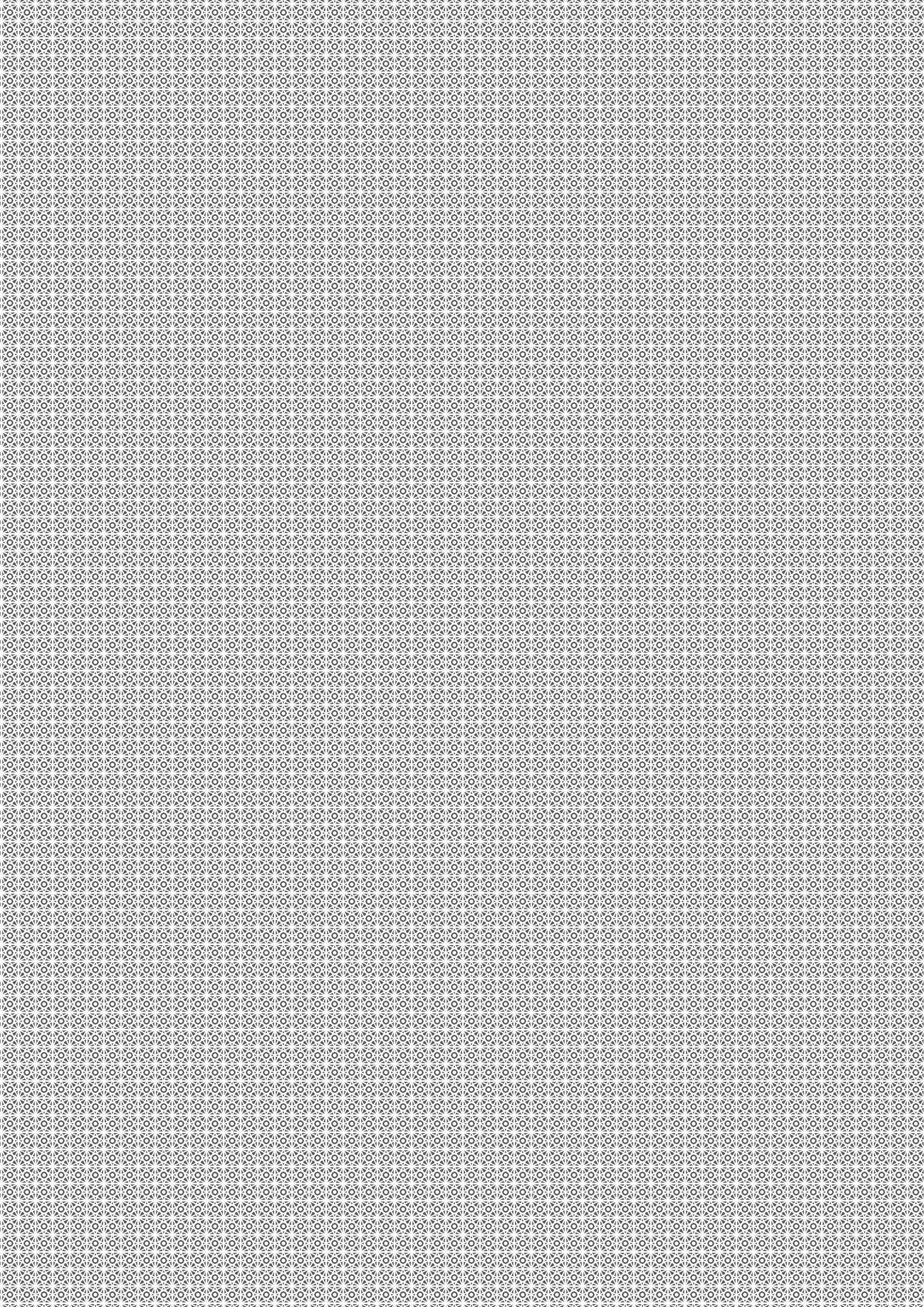
- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン、スマートウォッチ等の電子機器の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、10ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効となります。**解答用紙の**【1】**の欄には、受験番号を記入し、受験番号に対応する数字をマークしてください。**【2】**の欄には、氏名を記入してください。ただし、**【3】**の選択問題を表す欄のマークは不要です。
- 8 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 10 問題の内容についての質問には一切応じません。

解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤りとします。**
- 2 「解答番号は **【1】**。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の（例1）のように解答番号 **【1】** の解答欄の③にマークしてください。

| (例1) | 解答番号 | 解答欄 | | | | | | | | | |
|------|------------|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ① | ② | ● | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
| | 【1】 | ① | ② | ● | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



1 次の各間に答えよ。

[問 1] 次の記述は、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領特別活動に関するものである。

記述中の空欄 **ア** ~ **ウ** に当てはまるものの組合せとして適切なものは、下の 1 ~ 4 のうちのどれか。解答番号は **1** 。

小学部又は中学部の特別活動の目標、各活動・学校行事の目標及び内容並びに指導計画の作成と内容の取扱いについては、それぞれ小学校学習指導要領第6章又は中学校学習指導要領第5章に示すものに準ずるほか、次に示すところによるものとする。

- 1 学級活動においては、適宜他の学級や学年と合同で行うなどして、少人数からくる種々の制約を解消し、活発な **ア** が行われるようにする必要があること。
- 2 児童又は生徒の経験を広めて積極的な態度を養い、社会性や豊かな人間性を育むために、**ア** を通して小学校の児童又は中学校の生徒などと **イ** を行ったり、地域の人々などと活動を共にしたりする機会を積極的に設ける必要があること。その際、児童又は生徒の障害の状態や特性等を考慮して、活動の種類や時期、実施方法等を適切に定めること。
- 3 知的障害者である児童又は生徒に対する教育を行う特別支援学校において、内容の指導に当たっては、個々の児童又は生徒の知的障害の状態、生活年齢、学習状況及び経験等に応じて、適切に **ウ** を定め、具体的に指導する必要があること。

- | | | |
|------------------|-------------------|-------------------|
| 1 ア 集団活動 | イ 交流及び共同学習 | ウ 指導の重点 |
| 2 ア 集団活動 | イ 指導の重点 | ウ 交流及び共同学習 |
| 3 ア 指導の重点 | イ 交流及び共同学習 | ウ 集団活動 |
| 4 ア 指導の重点 | イ 集団活動 | ウ 交流及び共同学習 |

[問 2] 特別支援教育に関する記述として、法令に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 2。

- 1 特別支援学校には、幼稚部、小学部、中学部及び高等部を置かなければならないが、特別の必要のある場合においては、そのいずれかのみを置くことができる。
- 2 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び中等教育学校においては、疾病により療養中の児童及び生徒に対して、特別支援学級を設けることはできないが、教員を派遣して教育を行うことができる。
- 3 特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。
- 4 特別支援学校の幼稚部の教育課程その他の保育内容、小学部及び中学部の教育課程又は高等部の学科及び教育課程に関する事項は、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準じて、各都道府県の教育委員会が定めるため、文部科学大臣は定めることはない。

[問 3] 障害者の権利に関する条約の第二条に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 3。

- 1 「意思疎通」とは、言語、文字の表示、点字、触覚を使った意思疎通、拡大文字、利用しやすいマルチメディア並びに筆記、音声、平易な言葉、朗読のことであり、その他補助的及び代替的な意思疎通の形態、手段及び様式は含まない。
- 2 「障害に基づく差別」とは、障害に基づくあらゆる差別、排除又は制限であって、政治的、経済的、社会的、文化的、市民的その他のあらゆる分野において、他の者との平等を基礎として全ての人権及び基本的自由を認識し、享有し、又は行使することを害し、又は妨げる目的又は効果を有するものをいい、あらゆる形態の差別は含まない。
- 3 「合理的配慮」とは、障害者が他の者との平等を基礎として全ての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課すものをいう。
- 4 「ユニバーサルデザイン」とは、調整又は特別な設計を必要とすることなく、最大限可能な範囲で全ての人が使用することのできる製品、環境、計画及びサービスの設計をいう。ユニバーサルデザインは、特定の障害者の集団のための補装具が必要な場合には、これを排除するものではない。

[問 4] 視覚器の部位に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **4** 。

- 1 角膜は、直径約10～12mm、厚さ約1mmの円柱状の膜である。眼球の外層である眼球線維膜の前6分の1の部分である。
- 2 虹彩は、水晶体の前方に伸びる膜状組織で、眼内に入る光の量を調節する。虹彩の中央の開口部が瞳孔である。
- 3 毛様体は、内部に毛様体小帯を有し、毛様体筋と呼ばれる細い糸が出て、水晶体に付着している。
- 4 水晶体は、直径約9mm、厚さ約4～5mmの透明な凹レンズで、水晶体の厚さが変わることで焦点距離が変わり、遠近調節が行われる。

[問 5] 聴覚障害のある児童・生徒に対する指導内容に関する記述として、「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 令和3年6月)に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **5** 。

- 1 聴覚障害のある子供にとって、話し言葉を聞き分けたり、明瞭に発音したりすることは、困難性が低く、補聴器等の性能の向上、人工内耳の普及、早期からの教育的対応の効果により、聴覚活用の可能性が広がっている。
- 2 言葉の習得は、単に名称を理解することだけでなく、人との関わりを深めることや、知識の習得や思考力の伸長などにつながるため、子供の発達の程度に応じた段階的な言葉の指導が必要である。
- 3 聴覚障害のある子供の場合、視覚的な手掛けりを中心に判断することがある。このため、相手の言動や起こった出来事の流れに関係なく、相手の意図や感情などを判断することを指導する必要がある。
- 4 補聴器や人工内耳を装用していれば、音や音声を完全に聞き取れるので、補聴援助機器を活用して聞き取りやすくするといった補助手段の活用に関する指導は必要ない。

[問 6] 知的障害のある児童・生徒に対する指導の形態に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **[6]** 。

- 1 遊びの指導は、衣服の着脱や食事、排泄、手洗いや洗面などの衛生面での生活動作など、ADLを扱うことに強みを発揮する指導の形態である。特に、学校での生活の中で自然な形で学習課題を組み込むことが求められている。
- 2 生活単元学習は、特に就学前の時期からの学習経験を小学部以降の学校生活につなげる上で、遊びを中心とした指導の形態である。特に、身体活動を多く取り入れた遊びや、人間関係の形成を主なねらいとした遊びの指導を計画することが求められる。
- 3 日常生活の指導は、子供の生活課題を解決することなどをねらいとして、その単元で扱うテーマのもとに、生活に即したさまざまな学習課題を関連付けて展開する指導の形態である。児童・生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的・体系的に経験することによって、自立や社会参加のために必要な事柄を実際的・総合的に学習するものである。
- 4 作業学習は、作業活動を中心として、働く意欲や将来の職業生活、社会自立などをテーマとして学習を展開する指導の形態である。作業学習で扱われる作業活動の種類としては、農耕、園芸、紙工、木工、縫製、織物、金工、窯業、セメント加工、印刷、調理、食品加工、クリーニング、事務、販売、清掃、接客などがある。

[問 7] 肢体不自由のある児童・生徒に対する摂食指導に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **[7]** 。

- 1 体幹と頭部を安定させ、各部の関節を適度な角度に屈曲させ、リラックスした姿勢をとる。
- 2 未定頸で摂食嚥下機能の未熟な子供は、体幹を倒したほうが摂食指導を行いやすい。体幹の角度にかかわらず、頸部は軽く後屈した姿勢をとる。
- 3 椅子座位で自食する場合は、机の高さは、胸よりも上の位置とする。
- 4 椅子座位で自食する場合は、椅子に座ったときに、腰、ひざ、足首は90度に曲がった状態で、足底を床から浮かせるようにする。

[問 8] 疾病に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **8** 。

- 1 気管支喘息とは、発作的な気管支の狭窄による呼吸困難を繰り返す疾患である。呼吸困難症状には咳嗽、喘鳴などがある。治療薬として、吸入ステロイド薬がある。
- 2 血友病とは、血液凝固因子の過剰による血液凝固障害、出血傾向をきたす疾患である。症状は皮下出血、口腔内出血、関節内出血などの出血症状である。治療は、血液凝固因子を、注射薬によって定期的に補充することであり、通常生涯にわたって必要である。
- 3 てんかんとは、発作的に脳の神経細胞に異常な電気的興奮が起こり、その結果、意識、運動、感覚などの突発的な異常を来す病気である。発作は、脳全体が異常興奮する部分発作や、脳の一部分が興奮して起こる全般発作がある。治療は、薬物療法が主体であり、抗てんかん薬の服用により、発作をコントロールする。
- 4 ネフローゼ症候群とは、大量の蛋白尿により血清蛋白が減少する疾患で、むくみを認めることが多い。小児では特発性ネフローゼ症候群が90%を占め、原因は不明である。好発年齢は3～6歳の幼児期で男子に多い。治療薬として、ステロイド薬が有効であり、一旦寛解すれば再発を繰り返すことはない。

[問 9] 特別支援学校高等部学習指導要領理療の「各科目」の「課題研究」の「目標」に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **9** 。

- 1 施術を行うために必要な医療と社会の関わりについて体系的・系統的に理解するようになる。
- 2 理療について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。
- 3 疾病の成り立ちと予防に関する課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 4 疾病と日常生活の関わりに関する課題を発見し、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師としての職業倫理を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。

[問10] あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師等の免許証の再交付申請に関する記述として、あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゅう師等に関する法律施行規則に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **10**。

- 1 施術者は、免許証を失ったときは、免許証の再交付を申請することができない。
- 2 施術者は、免許証の再交付を申請する場合には、手数料として2,950円を国に納めなければならない。
- 3 免許証を破り、又は汚した施術者が免許証の再交付の申請をする場合には、申請書に合格証明書を添えなければならない。
- 4 施術者は、免許証の再交付を受けた後、失った免許証を発見したときは、五日以内に、古い免許証を厚生労働大臣に返納しなければならない。

[問11] 人体の結合組織の細胞に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。

解答番号は **11**。

- 1 脂肪細胞は、マクロファージとも呼ばれ、食作用により異物を取り込み、処理する細胞で、血液中の単球が組織に移行して分化したものである。
- 2 大食細胞は、Bリンパ球に由来する抗体を産生する細胞であり、核は丸く、色素に染まる染色質は中心から放射状に広がり、その形が車輪に似るところから車輪核と呼ばれる。
- 3 肥満細胞は、結合組織内に広く分布する細胞で、細胞質中に粗大な顆粒をもち、細胞表面のIgE抗体に抗原が結合すると、脱顆粒を起こしてヒスタミンなどを放出し、体内的アレルギー反応の引き金となる。
- 4 形質細胞は、線維性結合組織の中で最も多く見られる細胞で、細長い紡錘形をしており、結合組織の線維を産生する。

[問12] 肺に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **12**。

- 1 肺は、円錐を縦に半分に割ったような半円錐形をしており、下面を肺底、頂点にあたる上端を肺尖という。
- 2 肺は、深い切れ込みにより肺葉に分かれ、右肺、左肺ともに上・中・下葉の3葉に分かれている。
- 3 肺胞の壁は極めて厚く、肺胞の外側は毛細血管が網目状におおっている。
- 4 肺の表面は、光沢のある薄い壁側胸膜でおおわれており、肺門では気管や肺動静脈を包んだあと、胸腔内面をおおっている臓側胸膜に移行する。

[問13] 肘関節に関する次の記述ア～ウと、関節の名称A～Cとの組合せとして適切なものは、
下の1～4のうちのどれか。解答番号は **13**。

- ア 肘関節の屈伸運動に関わる蝶番関節である。
イ 前腕の回内・回外に関わる車軸関節である。
ウ 肘関節の屈伸運動と前腕の回内・回外に連動して動く球関節である。

- A 上橈尺関節
B 腕尺関節
C 腕橈関節

- | | | | |
|---|-----|-----|-----|
| 1 | ア-A | イ-B | ウ-C |
| 2 | ア-B | イ-A | ウ-C |
| 3 | ア-C | イ-A | ウ-B |
| 4 | ア-C | イ-B | ウ-A |

[問14] 疾病に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **14**。

- 1 動脈硬化は、動脈壁の弾性が低下して硬くなった病態のことであり、危険因子としては脂質異常症、低血圧、喫煙などがあげられる。
- 2 糖尿病は、高血糖状態が一定期間以上持続する疾患であり、成人になって発症するⅡ型糖尿病が糖尿病患者の大部分を占めているが、Ⅱ型糖尿病の発症に遺伝的要因は関与しない。
- 3 胆石症は、胆道内に結石を生じる疾患で、胆汁の成分が不均衡になってコレステロールが析出するとコレステロール胆石が形成される。
- 4 痛風は、長期にわたる高尿酸血症により、激痛を伴って発症する急性の胃腸炎のことであり、飽食、栄養過多が直接の原因である。

[問15] 東洋医学における気の作用に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **15** 。

- 1 溫煦作用とは、人体の組織・器官を温める作用のことである。気は熱源として働き、人体はこの働きにより体温を一定に保つことで正常な生理機能を発揮することができる。
- 2 固摶作用とは、外邪が人体に侵襲するのを防ぐ作用のことである。気は体表を覆い、外邪の侵襲を防いでいる。また、気は外邪が体内に侵襲した場合、対抗する役割を担う。
- 3 気化作用とは、生理物質を正常な場所にとどめ、やたらに流失するのを防ぐ作用のことである。気は血の脈外への流出、津液の過度な排泄、精の不要な流出を防ぐように働き、その結果、正常な分泌や排泄などが維持される。
- 4 防御作用とは、人体の成長・発育及び臓腑などの生理活動を促進する作用である。気は活動性の高い物質であり、人体内を絶えず休むことなく運動している。

[問16] 五要穴に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **16** 。

- 1 原穴とは、原氣と密接に関わるツボであり、原穴を刺激すると、生命の基本である原氣の流れをよくできるため、効果的に治療ができる。
- 2 部穴とは、骨肉のすき間にあるツボで、気と血が集まるとされている。慢性疾患の反応がよく現れ、治療に使うツボである。
- 3 絡穴とは、経脈が他の経脈と連絡して、分岐する穴である。経絡の虚実を反映し、急性の症状のときに反応が現れやすく、治療に使うツボである。
- 4 愈穴とは、臓腑の気が多く集まるツボで、全て陰の部にある。臓腑にそれぞれ一つずつあるが、必ずしもその同名の臓腑の経脈上にあるのではなく、任脈や胸腹部に存在するものもある。

[問17] 経穴現象に関する次の記述ア～ウと、その現象に関する名称A～Cとの組合せとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は **17** 。

- ア 交感神経を介した反応で、皮膚通電抵抗が低下する。
イ ある一定の圧力をかけることにより、局所的な刺激性のある症状を引き起こす。
ウ 皮下組織を母指と示指でつまみ上げて軽く圧迫すると、その部位にピリピリした異常な知覚が過敏に発生する。

- A 摄診点
B 良導点
C トリガーポイント

- | | | |
|-------|-----|-----|
| 1 ア-A | イ-B | ウ-C |
| 2 ア-B | イ-C | ウ-A |
| 3 ア-C | イ-A | ウ-B |
| 4 ア-C | イ-B | ウ-A |

[問18] 指圧の基本圧法に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は **18** 。

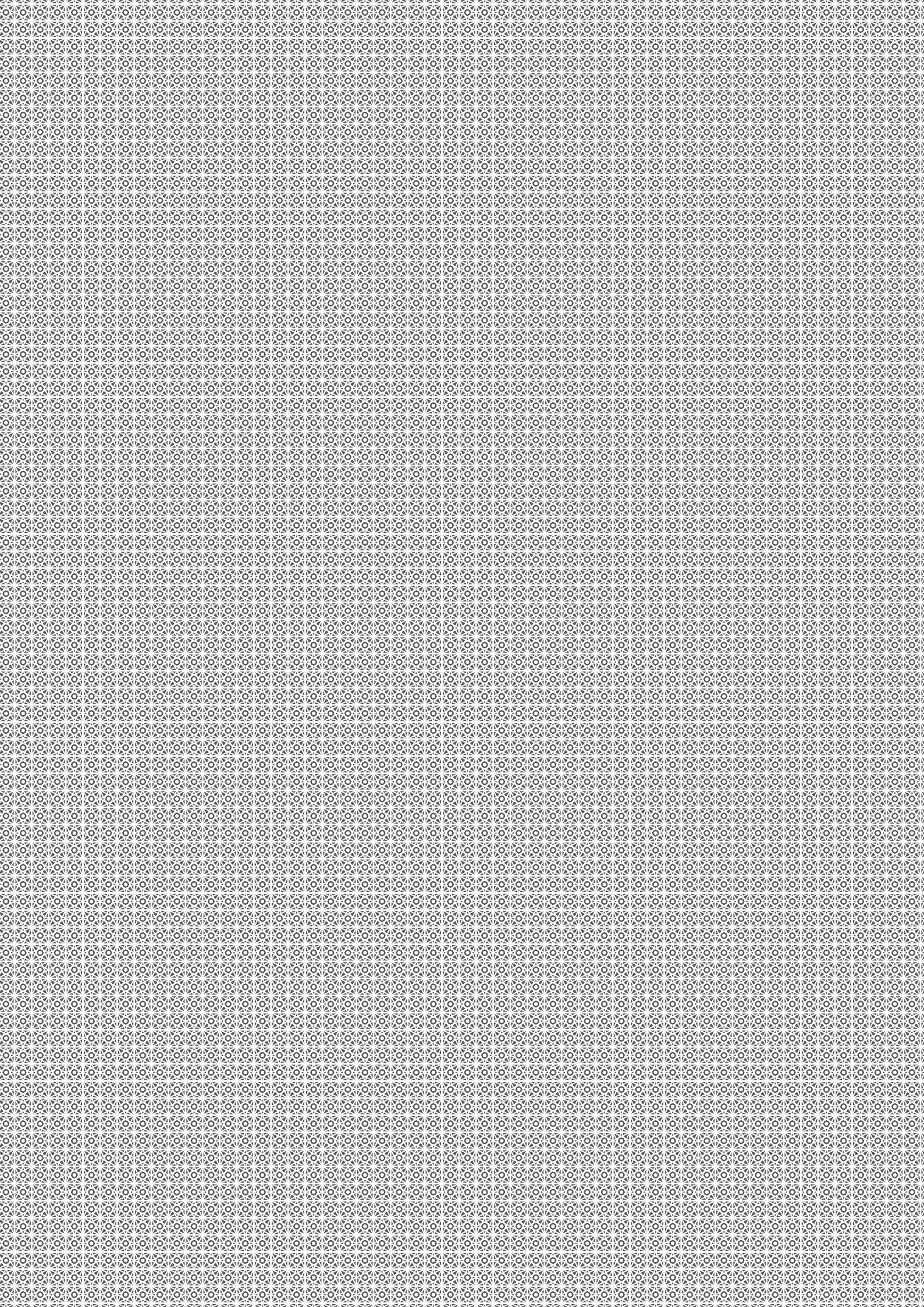
- 1 持続圧法は、漸増圧で一定限度まで押圧し、その後急に離す圧法である。
2 衝圧法は、2段押し、3段押しともいわれ、軽、快、又は軽、快、強と区切って押圧する圧法である。
3 吸引圧法は、手指、手掌を皮膚面に密着させ、皮膚を吸い上げ、吸い寄せ、吸いつけるように圧を加えるもので、三指又は手掌、母指と四指で挟むように操作する。
4 緩圧法は、徐々に圧を加え、一定の圧を保ち、そのまま5秒から10秒押す圧法である。主に手掌圧で行う。

[問19] 刺鍼の方法に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は
19。

- 1 前揉法とは、刺鍼前に刺鍼部位を揉むことであり、その作用は、患者の生体に鍼の刺入を予告することと、小血管からの出血を防止又は吸収を促すものである。
- 2 後揉法とは、刺鍼後に刺鍼部位を揉むことであり、その作用は、抜鍼後の鍼の遺感覚を除き、刺鍼部位の皮膚や筋肉をやわらげ刺激に慣らすものである。
- 3 押手の周囲圧とは、押手の母指と示指で刺鍼部位の皮膚面を軽く加圧する力をいい、この圧は刺鍼部位により、また、刺鍼部位の筋緊張などの度合いにより、その圧を調整する。
- 4 押手の水平圧とは、押手のうち、母指と示指が鍼体をつまむ力の加減のことである。鍼の進退・保持を円滑かつ正確に行うもので、弱すぎれば鍼は倒れてしまい、強すぎれば、刺入に困難をきたす。

[問20] 関節リウマチに関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 20。

- 1 関節を主病変とし、全身の支持組織を多発性におかす慢性の炎症性疾患である。進行すると、関節の破壊と変形が生じる。好発年齢は20～50歳代で、男性の発症の比率は女性の約4倍である。
- 2 多発性・対称性に関節に炎症が生じる。初期には夜に関節がこわばるのが特徴で、やがて関節痛、腫脹が起り、関節の破壊、変形、強直へと進む。
- 3 炎症が強い時期は安静にし、十分な栄養と休養をとる。症状が落ち着いたら、関節機能を維持するために、リハビリテーションを行う。
- 4 薬物療法として、非ステロイド系抗炎症薬、免疫抑制薬、生物学的製剤などを適宜使用し、ステロイド薬は使用してはならない。



3 問題文中の **[2]**、**[3 4]** などの **[]** には、数字又は符号 (−) が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1) **[2]**、**[3]**、**[4]**、……の一つ一つは、それぞれ 1~9、0 の数字又は符号 (−) のいずれか一つに対応します。それらを **[2]**、**[3]**、**[4]**、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、**[2 3 4]** に −84 と解答する場合には、次の (例 2) のようにマークします。

| 解答番号 | 解答欄 |
|------------|-----------------------|
| [2] | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ● |
| [3] | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ − |
| [4] | ① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ − |

なお、同一の問題文中に **[2]**、**[3 4]** などが 2 度以上現れる場合、原則として、2 度目以降は、**[2]**、**[3 4]** のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{[5 6]}{[7]}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $-\frac{4}{5}$ として、次の (例 3) のように

マークします。

| 解答番号 | 解答欄 |
|------------|-----------------------|
| [5] | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ● |
| [6] | ① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ − |
| [7] | ① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ − |

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで 0 にマークしてください。

例えば、**[8.9 10]** に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

| 問題番号 | | 解答番号 | 正答 | 配点 | 備考 |
|------|-----|------|----|----|----|
| 大問 | 小問 | | | | |
| 1 | 問1 | 1 | 1 | 5 | |
| | 問2 | 2 | 3 | 5 | |
| | 問3 | 3 | 4 | 5 | |
| | 問4 | 4 | 2 | 5 | |
| | 問5 | 5 | 2 | 5 | |
| | 問6 | 6 | 4 | 5 | |
| | 問7 | 7 | 1 | 5 | |
| | 問8 | 8 | 1 | 5 | |
| | 問9 | 9 | 2 | 5 | |
| | 問10 | 10 | 4 | 5 | |
| | 問11 | 11 | 3 | 5 | |
| | 問12 | 12 | 1 | 5 | |
| | 問13 | 13 | 2 | 5 | |
| | 問14 | 14 | 3 | 5 | |
| | 問15 | 15 | 1 | 5 | |
| | 問16 | 16 | 1 | 5 | |
| | 問17 | 17 | 2 | 5 | |
| | 問18 | 18 | 3 | 5 | |
| | 問19 | 19 | 4 | 5 | |
| | 問20 | 20 | 3 | 5 | |